

介助者向け！

高齢者施設における平時の感染対策 ～見落とししやすいポイント～

(ポスターとして貼りだしもおすすめです！)

東大阪市保健所 令和5年6月更新



標準予防策とは

すべての人は伝播する病原体（ウイルスや細菌など）を保有していると考え、嘔吐物、排泄物、血液などの体液に触れるときはすべての入居者に対していつも実施する予防策。

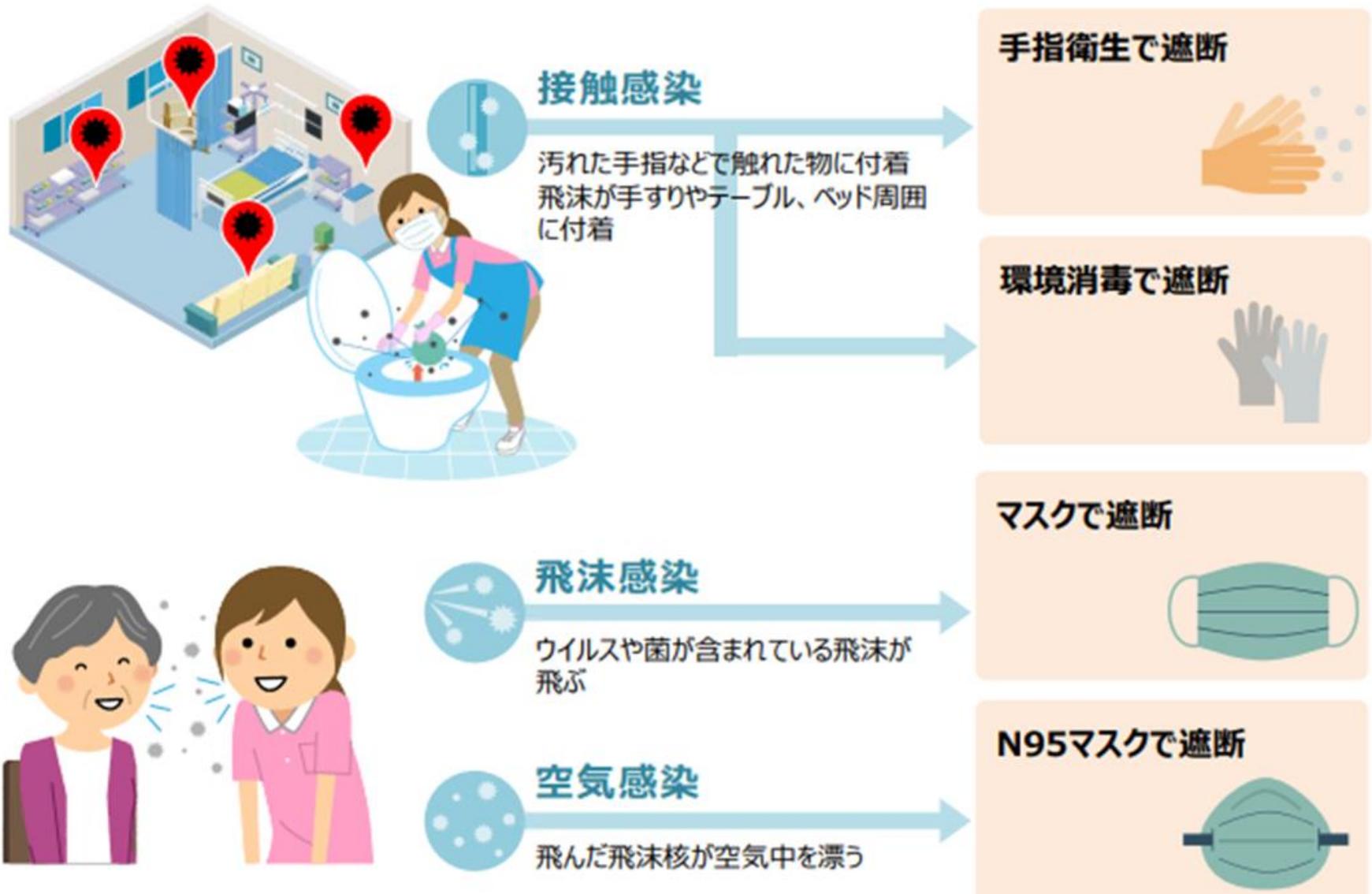


どんな予防策を…

1. 手指衛生
(手洗い・手指消毒)

2. 個人防護具
(マスク・手袋・ゴーグル/
フェイスシールド・エプロン/
ガウン等)

感染経路について



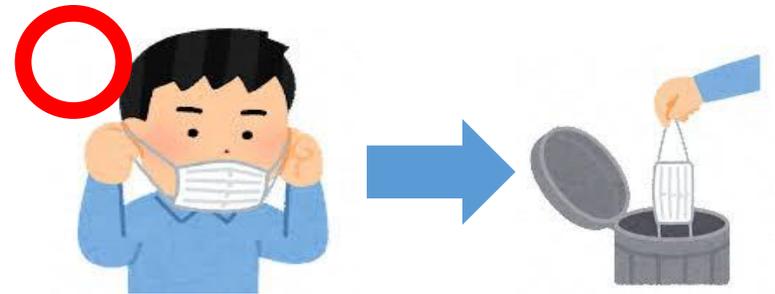
正しいマスクの着脱

①不織布マスクを選択

②すき間なく フィットさせる

→自分のサイズに合ったマスクを選ぶ

→鼻の形に合わせ、あご下まで伸ばす



③取り外しはひも部分を持つ



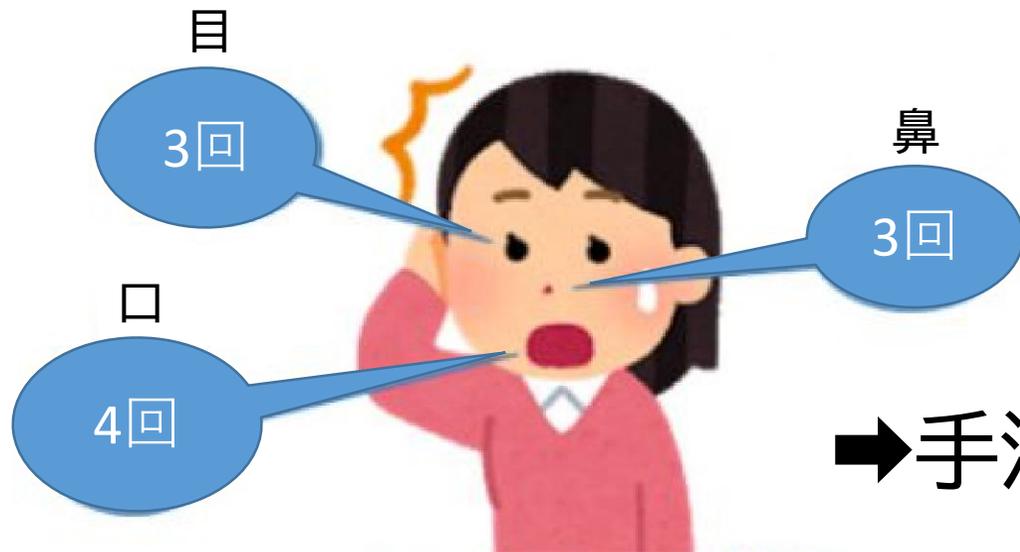
見落とししやすい感染経路

接触感染

…ウイルスが付着した手指で
目・鼻・口の粘膜に触れること



人は、「無意識に」顔を触っています！



➡手洗い手指消毒の徹底

そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、
約44%を占めています！

介護現場における手指衛生のタイミング

1 利用者への接触前

- ・握手の前
- ・移動や移乗の介助の前
- ・入浴や清拭の前

2 清潔操作の前

- ・口腔ケアの前
- ・配膳など食事準備の前

3 利用者への接触後

- ・握手の後
- ・移動や移乗の介助の後
- ・入浴や清拭の後



6 手袋を脱いだ時



5 利用者周辺環境 への接触後

- ・下膳の後
- ・リネン交換の後
- ・ベッドや周辺物品に触れた後
- ・カーテンを閉めた後

4 血液・体液に暴露された おそれがある時

- ・口腔ケアの後
- ・痰や唾液に触れた後
- ・尿、糞便、嘔吐物の処理をした後
- ・汚染箇所の掃除をした後



手指衛生（手洗いと手指消毒）

動画でチェック! →



●手洗い



①両手を水で濡らす



②石けんを適量とる



③良く泡立てて手のひらを洗う



④両手の指の間を洗う



⑤手の甲を洗う



⑥指先を手のひらにこすりつけて洗う



⑦親指を反対の手でねじるように洗う



⑧手首もねじるように洗う



⑨流水で石けんをきれいに洗い流す



⑩ペーパータオルでたたくようにして水分をとる



⑪手を拭いたペーパータオルで水道のレバーを押さえ水を止める

CHECK!

洗い残し
注意!

- ・指先
- ・指の間
- ・手首

POINT!



- 石けんで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎます。
- 目に見える汚れがある時は必ず石けんと水で、それ以外は手指消毒薬による手指消毒、石けんと水による手洗いのどちらでも良いです。
- 手洗い場は清潔にし、乾燥させます。水がはねやすいので、手指消毒薬などを置かないようにしましょう。

●手指消毒



①手指消毒薬を手のひらに取る



②たまった手指消毒薬に指先をつけて手のひらにこすりつける



③手のひらを消毒



④両手の指の間をこすりつけ消毒



⑤手の甲を消毒



⑥指の間も消毒



⑦親指を反対の手でねじるように消毒



⑧手首もねじるように消毒し、最後に手全体が乾燥するまでこする

CHECK!

手指消毒薬は、自分の手全体に行き渡る量を使用しましょう(約2-3mL)

NG!

手指消毒薬や石けん液の継ぎ足しは厳禁です容器を洗って乾燥させてから入れましょう

POINT!



■ 手が荒れると汚れが落ちにくくなりますので、手のケアもしましょう。

■ 日ごろから食事介助や排泄介助、清掃の前後などのタイミングで手洗いや手指消毒を習慣にしましょう。

個人防護具(PPE)着脱のポイント

- ✓ 手順を確認またはダブルチェックをする
(100%完璧はない！)
- ✓ 防護具を着たまま歩き回らない
(ウイルスを持ち出さない！)
- ✓ 手袋、ガウン、マスクの脱衣ごとに手指消毒する
- ✓ 使用済み防護具を入れるゴミ袋の外側は清潔を保持する
(防護具は汚染物のため外側に触れないようにする！)

脱ぐときに
特に注意する



● 個人防護具の脱ぎ方

— 首と腰のひもが、簡単にちぎれるタイプのプラスチックガウンの場合

1. 手袋を脱ぐ



手袋の脱ぎ方



① 手首部分の外側をつまみます ② 手袋を裏返すように脱いでいきます



③ 脱いだ手袋は反対側の手に握ります



④ 手袋表面に触れないよう、手首の内側から指を差し込みます



⑤ 外した手袋を包み込むように手袋を裏返し脱いでいきます



⑥ 所定の場所に廃棄します

2. 手指消毒



3. 長袖ガウンを脱ぐ *ガウンの表面に触れないようにする！



① 首の部分を持って引きちぎり、肩から脱ぐ



② 腕の内側を持ち腕を抜く



③ 腰ひもを引きちぎる



④ 内側が表になるようにまとめ廃棄

4. 手指消毒



5. フェイスシールドを外す



① 後頭部のゴムの部分を持ち頭から外し廃棄



6. キャップを外す



① 内側に手を入れ、後頭部から外し廃棄



7. マスクを外す



① ゴムの部分を持ち顔から外し廃棄



8. 手指消毒



POINT!



■ 個人防護具は、脱衣時にウイルスに触れないよう正しい脱ぎ方と順番を守りましょう。可能ならば二人一組で、お互いに確認しあいながら行いましょう。

■ 誤って“汚染している面に手が触れた”と感じた時は、あわてず、その都度手指消毒をします。一つの個人防護具を脱ぐたびに手指消毒をする方法もあります。

● 個人防護具の脱ぎ方

— 首と腰のひもが、ちぎれないタイプの不織布ガウンの場合

1. 手袋を脱ぐ



手袋の脱ぎ方



① 手首部分の外側をつまみます ② 手袋を裏返すように脱いでいきます



③ 脱いだ手袋は反対側の手で握ります ④ 手袋表面に触れないよう、手首の内側から指を差し込みます ⑤ 外した手袋を包み込むように手袋を裏返し脱いでいきます ⑥ 所定の場所に廃棄します

2. 手指消毒



3. 長袖ガウンを脱ぐ

* ガウンの表面に触れないようにする!



① 首の後ろのひもをほどく



② そのままひも部分を持って、肩から脱ぐ



③ 腕の内側を持ち腕を抜く



④ 腰ひもをほどく



⑤ 内側が表になるようにまとめ廃棄

4. 手指消毒



- 5. フェイスシールドを外す
- 6. キャップを外す
- 7. マスクを外す

左ページ参照

CHECK!

5~7では表面にふれないように注意して外します

8. 手指消毒



POINT!



- 個人防護具は、脱衣時にウイルスに触れないよう正しい脱ぎ方と順番を守りましょう。可能ならば二人一組で、お互いに確認しあいながら行いましょう。
- 誤って“汚染している面に手が触れた”と感じた時は、あわてず、その都度手指消毒をします。一つの個人防護具を脱ぐたびに手指消毒をする方法もあります。

参考ページ(大阪府・厚生労働省・日本環境感染学会抜粋)

<大阪府>

- ・知って納得 そうやったんか！感染予防

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/23711/00452409/kansenyobou.pdf>

- ・社会福祉施設等向け新型コロナウイルス感染症対応早わかりブック

https://www.pref.osaka.lg.jp/chiikifukushi/corona_book/index.html

<厚生労働省>

- ・介護職員のための感染対策マニュアル

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678255.pdf>

<日本環境感染学会>

- ・医療施設内での新型コロナウイルス感染症対応

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=393